

運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

(1) 運営費交付金債務の増減の明細

(単位:円)

交付年度	期首残高	交付金 当期交付額	当期振替額				期末残高
			運営費交付金 収益	資産見返 運営費交付金	資本剰余金	小計	
平成28年度	492,111,503	-	15,044,345	-	477,067,158	492,111,503	-
平成29年度	-	7,536,816,000	3,889,464,093	68,968,208	2,381,104,714	6,339,537,015	1,197,278,985
合計	492,111,503	7,536,816,000	3,904,508,438	68,968,208	2,858,171,872	6,831,648,518	1,197,278,985

(2) 運営費交付金債務の当期振替額及び主な使途の明細

① 運営費交付金収益への振替額及び主な使途の明細

(単位:円)

区分	運営費交付金 収益	運営費交付金の主な使途	
		費用	主な使途
業務達成基準による振替額			
東京国立近代美術館	1,012,739,469	955,979,605	人件費:378,762,666、業務費:577,216,939
京都国立近代美術館	229,929,885	186,766,106	人件費:99,459,576、業務費:87,306,530
国立西洋美術館	507,663,035	503,188,466	人件費:178,745,512、業務費:324,442,954
国立国際美術館	436,493,206	434,162,917	人件費:135,749,122、業務費:298,413,795
国立新美術館	526,307,370	450,214,139	人件費:177,599,347、業務費:272,614,792
法人本部	133,683,557	149,384,572	人件費:76,229,273、業務費:73,155,299
期間進行基準による振替額	1,057,691,916	1,033,595,783	人件費:480,234,685、業務費:553,361,098
費用進行基準による振替額	-	-	費用進行基準を採用した事業は無い。
合計額	3,904,508,438	3,713,291,588	

② 資産見返運営費交付金及び資本剰余金への振替額並びに主な使途の明細

セグメント	資産見返運営費交付金への振替		資本剰余金への振替	
	振替額	主な使途	振替額	主な使途
東京国立近代美術館	21,522,317	建物 10,516,764 構築物 1,976,400 工具器具備品 9,029,153	1,338,887,695	美術品・収蔵品 1,338,887,695
京都国立近代美術館	5,773,370	工具器具備品 5,773,370	805,870,640	美術品・収蔵品 805,870,640
国立西洋美術館	16,771,560	工具器具備品 16,771,560	640,717,877	美術品・収蔵品 640,717,877
国立国際美術館	648,000	工具器具備品 648,000	72,695,660	美術品・収蔵品 72,695,660
国立新美術館	24,252,961	建物 6,054,891 構築物 1,532,628 工具器具備品 14,871,562 ソフトウェア 1,793,880	-	
法人本部	-		-	
合計額	68,968,208		-	2,858,171,872

## (3) 運営費交付金債務残高の明細

(単位:円)

運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画	
	セグメント		
業務達成基準を採用した業務に係る分	東京国立近代美術館	199,028,855	ナショナルコレクション形成・継承事業及びナショナルセンター事業について、計画に基づく美術作品及び映画フィルム等の収集、修復ができなかったが、翌事業年度に計画どおりの成果を達成できる見込みであり、全額使用予定である。 また、管理部門の事業についてPCB廃棄物の処分ができなかったが、平成31年度までに完了できる見込みであり、全額使用予定である。
	京都国立近代美術館	13,897,263	ナショナルコレクション形成・継承事業について、計画に基づく美術作品等の修復ができなかったが、翌事業年度に計画どおりの成果を達成できる見込みであり、全額使用予定である。
	国立西洋美術館	172,646,560	ナショナルコレクション形成・継承事業について、計画に基づく美術作品等の収集、修復ができなかったが、翌事業年度に計画どおりの成果を達成できる見込みであり、全額使用予定である。 また、管理部門の事業についてPCB廃棄物の処分ができなかったが、平成31年度までに完了できる見込みであり、全額使用予定である。
	国立国際美術館	36,471,373	ナショナルコレクション形成・継承事業について、計画に基づく美術作品等の収集ができなかったが、翌事業年度に計画どおりの成果を達成できる見込みであり、全額使用予定である。
	国立新美術館	-	翌事業年度への繰越額は無い。
	法人本部	775,234,934	ナショナルコレクション形成・継承事業について、計画に基づく美術作品等の収集、修復ができなかったが、翌事業年度に計画どおりの成果を達成できる見込みであり、全額使用予定である。
	小計	1,197,278,985	
	期間進行基準を採用した業務に係る分		-
費用進行基準を採用した業務に係る分		-	費用進行基準を採用した事業は無い。
計	1,197,278,985		